

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	8:00		承認	審査	作成											
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事																		
	発生場所	雨水タンクヤード						2020/3/3	2020/3/3											
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-164											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	耐圧ホース	C						03	D	B	5	m	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h		
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0303
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H)	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事								
	発生場所	雨水タンクヤード						2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-164	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0304
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H) ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	8:30		承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事											
	発生場所	雨水タンクヤード					2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3				
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-164			
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	耐圧ホース			C	03	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2								m					
3								m					
4								m					
5								m					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0305
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月11日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H) ④	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 8:30	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事								
	発生場所	雨水タンクヤード				2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-164		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0306
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-163
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	8:30	承認	審査	作成												
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事																		
	発生場所	雨水タンクヤード					2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3											
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-164												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	耐圧ホース	C						03	D	B	5	m	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h		
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0307
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/12 8:30	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0083

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0308
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備鋼製角型タンク除却工事								
	発生場所	雨水タンクヤード					2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-164
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	耐圧ホース			C 03 D B	5 m	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m				
	3					m				
4					m					
5					m					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2020年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-163
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース (→H) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 8:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013708 - 0076

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水散水設備設置工事								
	発生場所	雨水タンクヤード					2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/2/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-164		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	耐压ホース	C	03	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0309
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐压ホース (→H) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 伐採木(枝・葉)	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。										
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。										

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0061

作業主管理	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1FP 共用プール廃液ライン改造工事								
	発生場所	水処理建屋 内外						2020/3/3	2020/3/3	2020/3/2
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2020/2/28		測定者			測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	リ-ICW-163
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③						$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材(梱包材等)	A	03	D	B	0.5 m	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	2	パレット(木材)	A	03	D	B	2 m	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無
3	パレット(プラ)	A	02	D	B	1 m	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0318
				2020/3/4
調整後保管日時		2020年3月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年3月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	木材(梱包材等)	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 11:00	0.5 m				1
2	1	パレット(木材)	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 11:00	2 m				1
								m				
								m				
								m				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	物揚場前面小型船舶係留設備設置工事ならびに関連除却工事					2020/3/5	2020/3/5	2020/3/5	
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員				
	元請会社					担当者				
	線量測定年月日	2020/3/3	測定者			測定器名	TCS-172B	管理番号	F1-SC-073	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	浮きブイ	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.1 $\mu$ Sv/h	0.1 $\mu$ Sv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0347
				2020/3/5
調整後保管日時		2020年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	浮きブイ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/12 10:00	1.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015204 - 0002

作業 主 管 欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	2019年工事用重機・車両の管理・運用委託								
	発生場所	スラッジヤード						2020/3/5	2020/3/5	
	作業主管G	保全計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
記 入 欄	線量測定年月日	2020/3/4		測定者			測定器名	ICW	管理番号	
								リ-ICW-268		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
メ モ	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	3	可燃その他	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0348
				2020/3/5
調整後保管日時		2020年3月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:30	1.6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:30	0.4 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃その他	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:30	0.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0014

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1 原子炉建屋オパフロ瓦礫撤去工事								
	発生場所	1号T/B1階				2020/3/5	2020/3/5	2020/3/5		
	作業主管G	燃料設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/3/4	測定者			測定器名	F1-ICWBL-69		管理番号	F1-ICWBL-69
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ウエス	A	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	ポリ、テープ類	A	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	物量については固体廃棄物管理G 調整済み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0351
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	ウエス ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	2 m <sup>2</sup>			1	
	2	1	ポリ、テープ類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	1.5 m <sup>2</sup>			1	
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0014

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1' 原子炉建屋オベフロ瓦礫撤去工事								
	発生場所	1号T/B1階						2020/3/5	2020/3/5	2020/3/5
	作業主管G	燃料設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/3/4	測定者			測定器名	F1-ICWBL-69	管理番号	F1-ICWBL-69	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	シート類	B	10	D	A	2 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2	フランジ	B	01	D	A	3 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	カナフレックスホース	C	03	D	A	1 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4	保温材	B	06	D	A	8 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
5										
固体廃棄物管理G 調整済み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0352
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月11日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	シート類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:30	1 m			1
	2	1	フランジ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:30	2 m			1
	3	1	カナフレックスホース(→H)④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:00	8 m			2
	4	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:30	0.5 m			1
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託								
	発生場所	1F構内防火帯 双葉通り付近						2020/3/5	2020/3/5	
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2020/2/20	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-080	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	A	10 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2.5 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 物量については固体廃棄物管理Gと調整済み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0353
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草)	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:00	30 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託								
	発生場所	1F構内防火帯 双葉通り付近						2020/3/5	2020/3/5	
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/20	測定者			測定器名	SC		管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	A	10 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2.5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 物量については固体廃棄物管理Gと調整済み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0354
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/12 8:00	10 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013402 - 0040

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)							
	発生場所	5号機 C/B 屋外西側 メイントランスエリア					2020/3/5	2020/3/5	2020/3/5
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/3/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-165	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類	A 01	D B	1 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
3	木材類	A 03	D B	0.2 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
4	可燃物その他	A 04	D B	0.2 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
5	ゴム類	C 01	D B	0.1 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0358
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	木材類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	可燃物その他 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	0.3 m <sup>2</sup>			1
	5	1	ゴム類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:00	0.01 m <sup>2</sup>			1
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の 有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
			①	②	③						
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	7	ホース類	C	03	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	8	難燃物その他	C	04	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 mSv/h	無	
	9						m <sup>2</sup>				
	10						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2020	—	03	—	0358

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	難燃シート類 ④	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアPi(屋外)	2020/3/11 10:00	0.2	m <sup>3</sup>			1
	7	1	ホース類 (→H) ④	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアPi(屋外)	2020/3/11 10:00	0.2	m <sup>3</sup>			2
	8	1	難燃物その他 ④	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアPi(屋外)	2020/3/11 10:00	0.1	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ホリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	石綿含有物(はつり屑等)		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0152

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	ALPS配管腐食対策工事									
	発生場所	高性能ALPS建屋						2020/3/6	2020/3/6	2020/3/6	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-145	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ(鋼材、鉄材、架台、ボルト・ナット類)	B	01	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	機器類・制御類(モーター、ポンプ等)	B	03	D	A	0.2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	塩化ビニール類(塩ビホース等)	B	05	D	B	0.2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ケーブル類(ケーブル)	B	08	D	A	0.2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	その他不燃物(吸着材等)	B	10	D	B	0.1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0359
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月12日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2		ICW	F1-ICW-393	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鋼材、鉄材、架台、ボルト・ナット類) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:50	1 m <sup>3</sup>			1
	2	1	機器類・制御類(モーター、ポンプ等) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:50	0.1 m <sup>3</sup>			1
	3	1	塩化ビニール類(塩ビホース等) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 9:00	0.1 m <sup>3</sup>			2
	4	1	ケーブル類(ケーブル) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:50	0.05 m <sup>3</sup>			1
	5	1	その他不燃物(吸着材等) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:50	0.01 m <sup>3</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2020	—	03	—	0359

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013705 - 0060

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン集水設備サンプリング配管改造								
	発生場所	No.1~7集水タンク				2020/3/6	2020/3/6	2020/3/6		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/3/4	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-66	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2	ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3	難燃シート	C	02	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
4	保温材(金属カバー付き)	B	06	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
5	金属ガラ(配管)	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0362
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月11日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-6	
3				
4				

保管 実績 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	難燃シート ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	保温材(金属カバー付き) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	1 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属ガラ(配管) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	3 m <sup>2</sup>			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2020/3/6	2020/3/6	2020/3/6	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/3/3	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-097		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.8 μSv/h	2.5 μSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.6 μSv/h	2.5 μSv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.6 μSv/h	1.5 μSv/h	無
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0363
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 9:30	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 9:30	3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 9:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫						2020/3/6	2020/3/6	2020/3/6
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2020/3/5	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-097
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.6 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.6 $\mu$ Sv/h	4.5 $\mu$ Sv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.6 $\mu$ Sv/h	12 $\mu$ Sv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0364
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 11:00	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 11:00	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他 ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0008

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	信頼性向上対策に伴う建物改修工事並びに関連除却工事他1件								
	発生場所	焼却工作建屋					2020/3/6	2020/3/6	2020/3/6	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/3/5	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	ICW-BL-30
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
1	紙・段ボール			1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
2	プラスチック、ビニール			2.8 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
3	土のう袋			1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
4	塩ビパイプ			0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
5	コーキング			0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0367
				2020/3/6
調整後保管日時		2020年3月11日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・段ボール ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック、ビニール ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	土のう袋 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	塩ビパイプ ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	8:30		承認	審査	作成					
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託												
	発生場所	1F構内防火帯 南展望台付近						2020/3/10	2020/3/9	2020/3/9				
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2020/2/13	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-080				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
	1	伐採木(枝・葉)	D	02	D	A	2	m	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h		
	2							m						
3							m							
4							m							
5							m							
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0372
				2020/3/10
調整後保管日時		2020年3月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2020/3/13 8:15	2 m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託								
	発生場所	1F構内防火帯 南展望台付近						2020/3/10	2020/3/9	2020/3/9
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/13	測定者			測定器名	SC	管理番号	F1-SC-080	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	伐採木(枝・葉)			2 m <sup>3</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
	2				m <sup>3</sup>					
3				m <sup>3</sup>						
4				m <sup>3</sup>						
5				m <sup>3</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0373
				2020/3/10
調整後保管日時		2020年3月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2020/3/13 8:30	2 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託									
	発生場所	1F構内防火帯 南展望台付近						2020/3/10	2020/3/9	2020/3/9	
	作業主管G	防災安全グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2020/2/13	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-080			
※カテゴリ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	伐採木(枝・葉)	D	02	D	A	2 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0374
				2020/3/10
調整後保管日時		2020年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2020/3/13 9:35	2 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	11:00		承認	審査	作成
	作業件名	2019年度防火帯除草業務委託							
	発生場所	1F構内防火帯 南展望台付近						2020/3/10	2020/3/9
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/2/13	測定者			測定器名	SC	管理番号	F1-SC-080
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	① ② ③								
	1	伐採木(枝・葉)			2 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2				m				
3				m					
4				m					
5				m					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0375
				2020/3/10
調整後保管日時		2020年3月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝・葉)				エリアV(伐採木)	2020/3/13 10:05	2 m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 伐採木(枝・葉)	04 —	05 —
				01 伐採木(枝・葉)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0030

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	03	—	0379
				2020/3/10
調整後保管日時		2020年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1号機 苛性タンク点検手入工事(2019)								
	発生場所	1号機 T/B 2F オペフロ					2020/3/10	2020/3/10	2020/3/10	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/3/9	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-137		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ゴム類(Vベルト)	C	01	D	A	0.01 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2020年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類(Vベルト) ④	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 10:00	0.01 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫3～8棟(GN-18北東付近)					2020/2/12	2020/2/12	2020/2/12
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/2/10	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-139
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙、ウェス	A 01	D B	1 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
	2	木くず	A 03	D B	0.5 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
	3	プラスチック、パウチ、ビニール	A 04	D B	0.5 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
4	防水シート	C 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
	5				m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GN-18北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0001
				2020/2/13
調整後保管日時		2020年3月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙、ウェス	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	木くず	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:00	0.2 m <sup>3</sup>			1
	3	1	プラスチック、パウチ、ビニール	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:00	0.2 m <sup>3</sup>			1
	4	1	防水シート	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013214 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事									
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫第2棟(GJ-18北西)						2020/2/17	2020/2/17	2020/2/17	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2020/3/9		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-140
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	① ② ③										
	1	難燃シート類			4 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無			
	2	ゴム類			0.2 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無			
3	ホース類			0.3 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無				
4	難燃物その他			0.5 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無				
5				m <sup>2</sup>							

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
巡回回収場所: GJ-18北西

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0007
				2020/2/18
調整後保管日時		2020年3月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:10	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ゴム類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 10:10	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月12日		(木)	8:30	承認	審査	作成												
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																		
	発生場所	H6タンクエリア				2020/2/20	2020/2/20	2020/2/20												
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	紙・ウエス類	A						01	W	B	1.5	m <sup>2</sup>	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
		2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	W	B	1.5	m <sup>2</sup>	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
		3	可燃物その他	A						04	W	B	2	m <sup>2</sup>	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
		4																		
5																				
巡回回収場所 (GP-27)																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0009
				2020/2/20
調整後保管日時		2020年3月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2020年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:30	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/12 8:30	0.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	02	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				01	状態	02	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				01	状態	02	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月12日	(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	H6タンクエリア			2020/2/20	2020/2/20	2020/2/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
線量測定年月日	2020/2/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
	1	木材類(型枠材・パレット)	A	03	W	B	5 m	20 $\mu$ Sv/h
	2						m	
メ	3						m	
	4						m	
	5						m	
	巡回回収場所(GP-27)							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0010
				2020/2/20
調整後保管日時		2020年3月12日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類(型枠材・パレット) ④	4 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/12 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0040

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タービン建屋内滞留残水排水設備設置(電気工事)								
	発生場所	4号T/B2FL (GT-24 倉庫前)				2020/2/21	2020/2/21	2020/2/20		
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/6	測定者			測定器名	ICW		管理番号 F1-ICW-156	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウェス類	A	01	D	B	0.8 m	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1.9 m	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.9 m	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
4						m				
5						m				
メモ	巡回回収場所: GT-24 倉庫前									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0024
				2020/2/25
調整後保管日時		2020年3月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	1.5 m			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	1.3 m			1
	3	1	可燃物その他	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.1 m			1
									m			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0040

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タービン建屋内滞留残水排水設備設置(電気工事)								
	発生場所	4号T/B2FL (GT-24 倉庫前)				2020/2/21	2020/2/21	2020/2/21		
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/6	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-156	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	難燃シート類	C	02	D	B	0.6 m	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
メモ	巡回回収場所: GT-24 倉庫前									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0025
				2020/2/25
調整後保管日時		2020年3月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③		状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	9:00	承認	審査	作成												
	作業件名	1~4号機 セシウム吸着塔交換管理他業務委託																		
	発生場所	事務所(集積場所:GT-23北)				2020/2/27	2020/2/27	2020/2/27												
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2020/2/26	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW BL-158											
※	カ テ ゴ リ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率										
		① ② ③																		
		1	紙・ウエス類	A	01						D	B	1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02						W	B	0.4	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3											m <sup>2</sup>							
4						m <sup>2</sup>														
5						m <sup>2</sup>														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・回収を希望します。巡回回収場所:GT-23北																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2020	—	03	—	0033
				2020/2/27
調整後保管日時		2020年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2020年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 9:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/13 9:00	0.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※												
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0040

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク連結管他点検関連								
	発生場所	D/G3/G7/J1タンクエリア						2020/2/27	2020/2/27	2020/2/27
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/26	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-158	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類			A 01 W B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	可燃物その他			A 04 D B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・回収を希望します。(巡回回収場所: GT-23)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0036
				2020/2/27
調整後保管日時		2020年3月11日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h			エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:30	2.5 m <sup>2</sup>			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h			エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有			③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業主管理記入欄	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】									
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋					2020/2/28	2020/2/20	2020/2/20		
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/2/19	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-60		
※カテゴリー	No.	保管物名			※カテゴリー		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウエス・キムタオル・段ボール	A 01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3	フレコンパック等	A 04	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	4	ゴムパッキン等	C 01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
5	難燃シート	C 02	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収希望 巡回回収場所: GL-13西											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0049
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス・キムタオル・段ボール	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:40	0.7 m <sup>2</sup>			1
	3	1	フレコンパック等	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ゴムパッキン等	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:40	0.1 m <sup>2</sup>			1
	5	1	難燃シート	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:40	0.8 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0051
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	5 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
巡回回収場所: GM-06 東

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:10	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013104 - 0002

作業主管理	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
線量測定	線量測定年月日	2020/1/20		測定者		測定器名	ICWBL		
							管理番号 F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の有無	
		①	②	③				β+γ 線量率	
	1	紙・ウェス類	A	01	W	B	5 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h
記入欄	2					m <sup>2</sup>			
	3					m <sup>2</sup>			
	4					m <sup>2</sup>			
	5					m <sup>2</sup>			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GM-06 東								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0052
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:00	4.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月10日	(火)	8:30	承認	審査	作成													
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事																		
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28													
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-74												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	エフレックス管類	C						04	D	B	5	m <sup>2</sup>	3	$\mu$ Sv/h	3	$\mu$ Sv/h		
		2											m <sup>2</sup>							
		3											m <sup>2</sup>							
		4											m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>														
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GM-06 東																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0053
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス管類(→H)	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月10日	(火)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28		
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-74	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	プラスチック類	A	02	D	B	5 m	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			

注:  $\alpha$  有、 $\beta \cdot \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
巡回回収場所: GM-06 東

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0054
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック類	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:00	0.8 m			1
	1	2	プラスチック類(→H)	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 8:00	0.3 m			1
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)				2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28		
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ゴム類	C	01	D	B	5 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
巡回回収場所: GM-06 東

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0055
				2020/2/28
調整後保管日時		2020年3月11日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2020年3月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 9:00	1.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木	02	伐採木(幹・根)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0056
				2020/3/2
調整後保管日時		2020年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月13日		(金)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路清掃業務委託							
	発生場所	A系排水路(GH-26北西)				2020/2/28	2020/2/28	2020/2/28	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/28	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	1 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	1 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃その他	A 04	D B	1 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 回収。ロールコンテナ車希望。 巡回回収場所: GH-26北西									

線量測定内容			
測定日	2020年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 8:20	0.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 8:20	1.3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃その他 ④	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/13 8:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0059
				2020/3/2
調整後保管日時		2020年3月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事(N2タンク)								
	発生場所	回収場所：鉄塔ヤード(GP-22北)					2020/3/2	2020/3/2	2020/3/2	
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/2/29	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW BL-90		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
1)巡回回収場所：鉄塔ヤード(GP-22北) 2)発泡ウレタン類収納ビニール袋結露有り。										

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/9 9:00	5.3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有			③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0075

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年3月9日		(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	移送配管リルート工事関連							
	発生場所	H1タンクエリア					2020/3/2	2020/3/2	2020/3/2
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/2/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-68	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D B	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ	B 02	D B	0.5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	保温材	B 06	D B	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	不燃物その他	B 10	D B	2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5	不燃物その他	B 10	D B	0.5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 企業殿持込み: 固体廃棄物管理G と調整済み								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0063
				2020/3/3
調整後保管日時		2020年3月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整済				

線量測定内容			
測定日	2020年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/9 10:25	1 m <sup>3</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/3/9 10:25	0.3 m <sup>3</sup>			1
	3	1	保温材②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/9 10:25	0.5 m <sup>3</sup>			1
	4	1	不燃物その他②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/9 10:25	1.5 m <sup>3</sup>			1
	5	1	不燃物その他②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/3/9 10:25	0.5 m <sup>3</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	石綿含有物(はつり屑等)		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0024

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	H4北エリア仮堀設置・撤去業務委託							
	発生場所	H2エリア						2020/3/3	2020/3/3
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/3/3		測定者			測定器名	ICW	管理番号
								ICW-080	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	不燃シート	B	10	D	B	0.8 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h
2	バッテリー	B	10	D	B	1.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無
3	鉄箱	B	10	D	B	1.3 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無
4	ホース	B	05	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無
5	ケーブル	B	08	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G と調整済み								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0071
				2020/3/4
調整後保管日時		2020年3月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/10 10:20	0.8 m <sup>2</sup>			1
	2	1	バッテリー⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/3/10 10:20	0.05 m <sup>2</sup>			1
	3	1	鉄箱②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/10 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ホース	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			2
	4	2	ホース(→H)	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:00	0.3 m <sup>2</sup>			2

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6	金属ガラ	B	01	D	B	0.3 m <sup>3</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	7	不燃物その他	B	10	D	B	0.4 m <sup>3</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	8						m <sup>3</sup>			
	9						m <sup>3</sup>			
	10						m <sup>3</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2020	—	03	—	0071

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	5	1	ケーブル②	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/3/10 10:20	0.1	m <sup>3</sup>			1
	6	1	金属ガラ②	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/3/10 10:20	0.2	m <sup>3</sup>			1
	7	1	不燃物その他②	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/3/10 10:20	0.1	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0183

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0074
				2020/3/4
調整後保管日時		2020年3月10日		10:30
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	セシウム吸着装置保守管理委託									
	発生場所	事務所工作場(グリット番号:GT-23)					2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/3/2	測定者		測定器名	①F1-ICW	管理番号	112			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
1	紙、ウエス	A	01	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	木材類	A	03	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	可燃物その他	A	04	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	ゴム類	C	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 処理方法: 回収 日時: 2020年3月10日 10:00 巡回回収場所: GT-23											

線量測定内容			
測定日	2020年3月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ + $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h								
1	1	紙、ウエス	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.3 m <sup>2</sup>			1	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.5 m <sup>2</sup>			1	
3	1	木材類	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.5 m <sup>2</sup>			1	
4	1	可燃物その他	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.1 m <sup>2</sup>			1	
5	1	ゴム類	4	$\mu$ Sv/h	4	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.1 m <sup>2</sup>			1	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあつた物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③									
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.2	m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	7						m <sup>2</sup>							
	8						m <sup>2</sup>							
	9						m <sup>2</sup>							
	10						m <sup>2</sup>							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2020	—	03	—	0074

保管 管  実  績  記  入  欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	難燃シート類	4	$\mu\text{Sv/h}$	4	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:20	0.1	m³			1
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	石綿含有物(はつり屑等)		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				D	伐採木		01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1」構内にあった物, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0075

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年3月10日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	移送配管リルート工事関連								
	発生場所	H1タンクエリア						2020/3/3	2020/3/3	2020/3/3
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/2/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-68
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウェス類	A	01	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1.5 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	2 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ゴム類	C	01	D	B	0.1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	難燃シート類	C	02	D	B	0.4 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
メモ	注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: グリット図GR-24H1タンクエリア 南西									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0075
				2020/3/4
調整後保管日時		2020年3月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年3月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:10	0.6 m			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:10	0.8 m			1
	3	1	可燃物その他	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:10	1.9 m			1
	4	1	ゴム類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:10	0.1 m			1
	5	1	難燃シート類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2020/3/10 10:10	0.1 m			1
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0059

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	03	—	0082
				2020/3/4
調整後保管日時		2020年3月11日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年3月11日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク他設置工事									
	発生場所	H2エリア				2020/3/4	2020/3/4	2020/3/4			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/3/4	測定者		測定器名	ICW	管理番号	ICW-080			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	鉄箱	B	10	D	B	1 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	ハンドリフト	B	10	D	B	0.3 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3	不燃シート	B	10	D	B	1.5 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
4	メッシュ	B	10	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
5	金属ガラ	B	01	D	B	0.4 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
・固体廃棄物管理Gと調整済み

線量測定内容			
測定日	2020年3月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄箱②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:25	1 m <sup>3</sup>			1
	2	1	ハンドリフト②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:25	0.3 m <sup>3</sup>			1
	3	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:25	0.5 m <sup>3</sup>			1
	4	1	メッシュ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:25	1 m <sup>3</sup>			1
	5	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/3/11 10:25	0.5 m <sup>3</sup>			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	不燃物その他	B	10	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無			
	7					m <sup>3</sup>							
	8					m <sup>3</sup>							
	9					m <sup>3</sup>							
	10					m <sup>3</sup>							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2020	—	03	—	0082

	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
保 管 実 績 記 入 欄																
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	石綿含有物(はつり屑等)		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」											

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。